

速度低下が起きるのはどんなところ？：プローブ #01

整理

分析

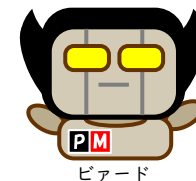
可視

プローブデータは位置と時間を記録した車両の動きの情報を持っています。

ここでは走行速度が遅い座標の集中状況をヒートマップ^(注)を用いることで何が見えてくるのか…

『車両が10km/h以下の低速走行をしている区間を集計して図化』した結果です。

車両の用途が異なると走行の傾向に違いがあるのか？を把握することが可能なのかを確かめてみました。



ビャード

乗用

中心市街部に
発生しますん？

貨物

中央卸売市場付近

産業施設付近に
集中しますん？

注：ヒートマップ
(カーネル密度推定)とは…
密度を計算する地点を中心と
して、任意に指定した検索半
径内の点密度を、計算地点か
らの距離減衰効果による重み
付けを伴って計算する手法で
ある。
(Silverman, 1986)

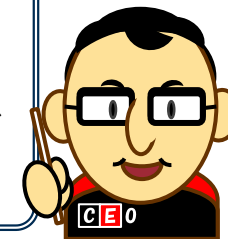
乗合

バスターミナル付近に
集中しますん？

速度が10km/h以下(0km/hは除く)になっている区
間の抽出をおこなってみました

- ・乗用は市街部エリアで速度低下が多く発生
- ・貨物は拠点となりそうな場所を中心に速度が低下
- ・乗合はバスターミナル付近に集中しているほか市街
部で速度低下が発生

このように用途により速度低下の発生する場所が異な
ることに気づく事ができるのです。ただし、これはた
くさんのデータを積み重ねた結果から導き出す必要が
あり情報が少ない場合は特定の結果に左右されることが
あるので注意が必要です。



瀬尾さん